

# 会 議 録

## 1 会議名

令和 6 年度第 10 回柿崎区地域協議会

## 2 議題(公開・非公開の別)

### (1) 自主的な審議 (公開)

- ・ 柿崎区地域協議会 各委員会の取組状況について
- ・ 地域協議会の自主的な審議事項に関する通知票について

### (2) 報告事項 (公開)

- ・ 「柿崎区における公立 4 保育園の統合及び移転整備について」の答申に対する回答について
- ・ まちづくりフォーラムの開催について
- ・ 農業団体との懇談結果について
- ・ 地域独自の予算事業の一覧について

### (3) その他 (公開)

## 3 開催日時

令和 7 年 2 月 18 日 (火) 午後 6 時 30 分から午後 7 時 43 分まで

## 4 開催場所

柿崎コミュニティプラザ 4 階 多目的ルーム

## 5 傍聴人の数

2 人

## 6 非公開の理由

なし

## 7 出席した者(傍聴人を除く) 氏名(敬称略)

- ・ 委 員：吉井会長、中村副会長、石田委員、金子委員、小出委員、小関委員、  
小山委員、坂木委員、佐藤(達)委員、佐藤(昌)委員、  
佐藤(ま)委員、滝澤委員、蓑輪委員、山川委員
- ・ 幼児保育課：黒津課長、徳永係長

- ・事務局：柿崎区総合事務所 新部所長、松崎次長、石澤次長、  
五十嵐産業グループ長、宮崎建設グループ長、  
石川市民生活・福祉グループ長、小林教育・文化グループ長  
長井地域振興班長、大場副主幹

## 8 発言の内容（要旨）

### 【松崎次長】

- ・地域協議会の開会を宣言。
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告。
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第1項の規定により、会議の運営は会長が行う旨を説明。

### 【吉井会長】

- ・会長挨拶。
- ・会議録署名委員に滝澤委員を指名。
- ・本日の議事運営を一部変更し、はじめに次第5の報告事項(1)「柿崎区における公立4保育園の統合及び移転整備について」の答申に対する回答について、幼児保育課から説明を受ける。

### 【黒津課長】

- ・回答に先立ち、柿崎区における公立4保育園の統合、移転整備について、お認めいただく答申を賜り、まずもって心から感謝申し上げる。引き続き子どもたちの目線に立ち、現場の保育士や保護者の皆様、地域の皆様と意見交換をしながら、新保育園の整備に取り組んでいきたいと改めて決意した。今後とも、ご理解とご協力をよろしくお願いする。

### 【徳永係長】

- ・回答の概要については、諮問したとおり柿崎区内の公立4保育園を統合し、新たな保育園の移転整備に向けた取組を今後進めるという内容である。
- ・それでは、その具体的な取組内容を説明する。令和7年度以降の具体的な取組としては、今年度実施した地質調査などの基礎調査結果を踏まえて、新しい園舎の建築に係る設計業務が中心となる。そうした中で、園舎のデザイン、園庭

や駐車場のランドデザインを具体的に検討するとともに、開園する時期についても、詳細なスケジュールを含めて策定する。検討にあたっては、日頃から保育の業務に携わっている現場の職員、園長、保育士などをはじめ、保護者と地域の皆様の意見も参考にしながら進めていきたいと考えている。

- ・また、新しい保育園の開園に向けて、園舎周辺における交通事情等を考慮した安全対策を引き続き関係機関と検討していく。
- ・なお、今回の諮問並びに答申については、新たな保育園を設置する上での構想段階の諮問であることから、現時点で未定となっている保育園の園名や定員等の未確定部分は、それらが確定した段階で新保育園の設置、既存保育園の廃止に関する内容を改めて皆様にお諮りする。
- ・今後も、保護者と地域の皆様のご意見を丁寧にお聞きしながら、新しい保育園の整備に向けた取組を着実に進めていきたいと考えているので、ご理解とご協力をよろしくお願いする。

【吉井会長】

- ・委員の皆さんから意見、質問はないか。

【小山委員】

- ・令和7年度以降のスケジュールを確認したい。保育園が公立となるのか、それとも民間移管されるのかは、どの段階で決まるのか。それによって保育サービスの内容も変わってくると思うが、保育園のデザイン、設計が先に進んでいる。設計等は、保育サービスの内容や施設の使われ方も関係してくるのではないかと気になった。
- ・また、4 保育園の跡地利用をどのように考えているかを聞きたい。

【黒津課長】

- ・最初に、今後のスケジュールをご説明する。これからの設計等によって、スケジュールの細かなところが決まってくると思っている。本年度、候補地を決定し、現況測量、地質調査、試掘調査を行った。
- ・令和7年度は、造成と建築等の設計を行う。それによって今後の工事のスケジュールの詳細が決まると思われる。現時点では予定だが、令和8年度以降に既存の柿崎体育館の除却、地盤の造成と建築等の工事、令和9年度も引き続き造成・建築工事と外構工事を行う。現時点では、開園の時期をお示しできないが、

令和 7 年度に行う設計等によって決まる。

- ・ 2 点目の民間移管については、これまで保育園 7 園の民間移管の実績がある。今、市内で 11 の保育園を 3 つの枠組みで統合し、保育園新設の事業を同時並行で進めている。民間移管については何度かお話ししたが、子どもたちにとって 4 つの保育園が一緒になる、それと同時に民間移管するということになると、子どもたちへの負担が大きいと思われる。まずは公立保育園として統合し、運営基盤を作ること考えている。現時点で民間移管の方針がないわけではないが、統合と新しい保育園の開園と同時に民間移管ということは現時点では考えていない。また、今後どのようにして民間移管を決めるのかは、皆さんと検討しながら、そして、地元のご意見もお聞きしながら進めていきたい。

【徳永係長】

- ・ 保育園の跡地利用については、さまざまな用途、使い方が想定される。まずは市内の関係者が集まって、活用方法を事前に検討したいと思っている。その中で、例えば地元から活用の意向があったり、他用途のニーズがあったりした場合、その意向を参考に施設の活用も視野に入れた上で検討していく。
- ・ 過去の事例においては、施設を除却して更地にした後、宅地化したり、新しい施設を建設したりしており、さまざまなケースが考えられる。

【小出委員】

- ・ 跡地利用の説明会や意見を聞く会の開催は、スケジュールの中に入っているのか。

【徳永係長】

- ・ 基本的には、開園の 2 年前から跡地利用の検討を始める。例えば、開園の時期を令和 10 年 4 月とすると、令和 8 年には跡地の検討を始めなければならないと思っている。

【小出委員】

- ・ ぜひ、地域の意見を吸い上げていただけるようなスケジュールを組んでほしい。

【吉井会長】

- ・ 他に意見、質問がないため、柿崎区における公立 4 保育園の統合及び移転整備についての答申に対する回答の報告を終了する。

(幼児保育課職員退席)

- ・ それでは、議事に沿って進める。次第４の自主的な審議に移る。(1)柿崎区地域協議会 各委員会の取組状況について、最初に中村副会長から米山薬師を守る会の取組状況の報告をお願いする。

#### 【中村副会長】

- ・ ２月１３日に第４回の会議を開催したので、協議結果を報告する。当日は、産業グループの担当職員に来ていただき、柿崎山岳会へ委託している業務内容の説明を受けたあと意見交換を行った。
- ・ 市からの業務委託として、米山登山道の維持管理があり、山岳会は、登山道の草刈りや危険箇所の対応、倒木処理、道標地蔵等の点検を行っている。また、上越市と柏崎市、両市の山岳会等で構成している米山山頂避難小屋連絡協議会からは避難小屋とトイレの清掃、トイレの組立・解体作業の業務が委託されている。その他に、小学校の米山登山や米山山開きの登山ガイドがある。また、山岳会が自主的な活動として、登山道の維持管理、駒・しらば小屋の管理を行っている。
- ・ 意見交換では、柿崎山岳会解散後の米山の施設の維持管理は、業務委託を主にして、業務委託で手が届かない部分、細かい部分はボランティアをお願いすることがよいのではないかととなった。ただし、ボランティアで行うには、ボランティアの募集や情報発信を担う事務局的な団体が必要となる。その事務局は、柿崎まちづくり振興会や柿崎観光協会と考えているが、両団体の今の体制では事務局を担うことは困難と思われる。
- ・ また、業務委託が主になると、どうしても予算が膨らんでしまうことから、管理方法も毎月行っていたものを見直すなど工夫していかなければならない。

#### 【吉井会長】

- ・ 委員の皆さんから意見、質問はないか。

#### 【小出委員】

- ・ 総合事務所も、地域協議会委員も、行政で責任を持って予算化し委託する業務と、ボランティアをお願いする業務に分けて維持管理を行うという考え方では一致した。しかし、ボランティアで行うには、核になる団体、事務局を担うところがないと人を集められない。そのことで行き詰まり結論を出せなかった。委員会だけでは結論が出ないので、ぜひ皆さんの力をお借りして、よい方法を

考えていきたいと思っている。

【吉井会長】

- ・米山薬師を守る会だけではなく、本会議で議論していかないと結論を出せないと思うので、委員会で議論することを整理して本会議へ挙げていただきたい。
- ・それでは、他に意見、質問がないため、米山薬師を守る会の取組状況の報告を終了し、佐藤（達）委員長にネットワーク柿崎の報告をお願いします。

【佐藤（達）】

- ・1月28日に第4回の会議を開催したので、その概要を報告する。これまでの会議で検討の方向性を議論し、柿崎区内でも情報発信しているツール、ウェブサイトがあることから、そのウェブサイトの勉強を始めた。第4回の会議では、かきざき空き家利活用協議会（コネクト柿崎）の事務局長からホームページの説明を受けて、活動内容や抱えている課題等をお聞きたした後、意見交換を行った。
- ・コネクト柿崎は、空き家の売買・賃貸の仲介を行うのではなく、物件情報をより多くの人に周知することを活動の柱としている。また、空き家物件の情報発信はホームページだけでなく、できるだけ多くの人に知ってもらうためにインスタグラムを活用している。
- ・ホームページの製作費は、市の地域独自の予算事業補助金を活用し、自主財源は会員の年会費の他、協賛金で賄っている。空き家を探して柿崎区に移り住もうとしたら、「柿崎はどんなところか」「どんな仕事、どんな会社があるのか」「学校の環境はどうか」など、生活するためのさまざまな情報を知りたいはずなので、そういったこともフォローしていかないと空き家は売れない。コネクト柿崎のホームページは空き家情報だけでなく、さまざまな情報が掲載されていて、とてもよくできているという印象だった。課題は、ホームページの維持管理費用の工面と、誰がホームページの更新を行うかであるとお聞きした。
- ・今後、多くの情報を収集していくため、情報の発信・受信のツールを活用している自治体から取組を聞きたいと考えている。
- ・検討の流れとしては、3段階のステップで考えている。ステップ1は、現状と課題の把握、ステップ2は最適策の検討と追及、ステップ3で環境構築に向けた具体策の実行を考えている。今は、ステップ1の現状の把握と課題の確認の

段階である。

【石田委員】

- ・コネクト柿崎をはじめ、柿崎観光協会、柿崎まちづくり振興会はとても素晴らしいホームページを持っている。ただ課題は、ホームページの更新頻度とそれを管理する人、周知方法、そしてどのようにしてヒット率を上げていくかだと思われる。ネットワーク構築のために、新たにホームページを立ち上げると、また同じ悩みを抱えてしまうのではないか。
- ・柿崎まちづくり振興会のホームページがとてもよくできているので、一つの策として、更新頻度を上げてリニューアルするというような形をとってもよいと思っている。新規ですべてを賄うことは、ハードルが高いと感じている。

【吉井会長】

- ・それでは、他に意見、質問がないためネットワーク柿崎の取組状況の報告を終了する。本日、2つの委員会の報告だが、スポ×まちプロジェクトから報告はあるか。

【佐藤（昌）委員】

- ・区内のスポーツ施設の視察を行い、施設の良いところ、残念なところを把握したので、今後、関係団体と話し合いを行い、これからの活動につなげていきたい。また、解決方法の模索、資金調達の方法、実施主体さがしが今後、課題になってくると考えている。
- ・3つの課題の中の資金調達方法であるが、組織を立ち上げたとしても生まれたばかりの組織は資金的に苦しく、スタートアップ資金の確保方法を検討しなければならない。さらに、継続的に運営できる組織はどういうものなのかが課題となるので、他の委員会とも連携を取りながら進めていきたい。

【吉井会長】

- ・委員の皆さんから意見、質問はないか。  
（意見、質問なし）
- ・意見、質問がないため、柿崎区地域協議会 各委員会の取組状況についての協議を終了する。
- ・次に、(2)地域協議会の自主的審議事項に関する通知票について協議する。事務局から説明をお願いする。

#### 【長井班長】

- ・既に自主的審議事項に 3 つのテーマを決め、テーマ別に委員会を立ち上げて、課題解決に向けた協議をしていただいている。各委員会とも 3 回または 4 回の会議を開催し、審議の方向が定まってきたので、審議事項の件名、概要を決定し、地域政策課へ地域協議会の自主的審議事項に関する通知票を提出したいと考えている。
- ・資料 2 の審議事項の件名と概要を読み上げる。

#### 【吉井会長】

- ・説明があった内容は、各委員会で議論が終わっている。資料 2 のとおり地域政策課へ提出してよろしいか。

（「はい」の声）

- ・それでは、自主的な審議の協議を終了し、次第 5 の報告事項 (2) まちづくりフォーラムの開催について、山川実行委員長に報告をお願いする。

#### 【山川委員】

- ・1 月 21 日に第 3 回実行委員会を開催したので、まちづくりフォーラムの概要を改めて報告する。

① 開催目的：活気あるまちづくりのために自らできることを考える

② 開催日時：令和 7 年 2 月 24 日（月）午前 10 時から正午

③ 開催場所：柿崎コミュニティプラザ 4 階 ホール

④ 内 容：柿崎区地域協議会の活動報告

地域独自の予算事業の概要説明

事業報告

かきざき空き家利活用協議会の取組状況について

上越地区産業廃棄物最終処分場整備の概要について

⑤ 周知方法：チラシ、ポスターを作成し、世帯回覧や関係団体、商店、事業所、公共施設等に配付

防災行政無線での放送

報道機関へ情報提供

#### 【吉井会長】

- ・当日は天候が冬型となる予報が出ており、来場者が少なくなるのではないかと



心配している。地域協議会の活動を知ってもらうよい機会なので、委員の皆さんは家族、知人、友人を誘って参加してほしい。

- ・ それでは、まちづくりフォーラムの開催についての報告を終了し、(3)農業団体との懇談結果について、菰輪委員に報告をお願いします。

#### 【菰輪委員】

- ・ 昨日、農業団体との懇談会を開催したので、結果概要を報告する。懇談会には、えちご上越農業協同組合はまなす支店、柿崎土地改良区、柿崎区認定農業者協議会から 9 名出席していただいた。課題を抽出するための懇談会であったが、後継者不足が改めて大きな課題として浮き彫りとなった。どの課題にも共通する人口減少、少子高齢化が根底にある構造的な問題かと思う。
- ・ 農業は、耕作者だけではできない。水が大事で、水路確保のための地域、町内の共同作業が欠かせない。農業を支えるための共同作業の参加者が減り、水路の草刈りや泥上げなどの維持管理が難しくなっている。
- ・ 農業後継者がいないことから、柿崎区では他地域の若者から柿崎区で農業に取り組んでもらおうと、東京農工大学の学生を毎年受け入れて研修を行い、就農につなげている。そういう人たちは発想がよく、新しい考え方を持っているので、今後、意見を聞いてみたいという発言があった。
- ・ また、行政に期待する声も大きく、昨年、10 年後の目指すべき農地利用を定める地域計画策定のための懇談会が行われたが、行政が先頭に立って、関係団体と協力しながら、今後の農業のあり方の方向性を示してほしいという意見もあった。
- ・ 今、米不足で米の価格が非常に高くなっている。消費者には、毎日食べる米の価格が上昇すると生活に影響が出るが、農業を見直してもらうチャンスと捉えてもよいという考え方もあった。

#### 【吉井会長】

- ・ 質問等がないため農業団体との懇談結果の報告を終了する。
- ・ 次に、(4)地域独自の予算事業の一覧について、事務局から説明をお願いします。

#### 【長井班長】

- ・ 資料 4 により、令和 7 年度地域独自の予算事業の各事業の事業名と実施主体名、予算額、事業内容を説明する。

【吉井会長】

- ・ それでは、報告事項を終了する。
- ・ 次に、次第 6 のその他 (1)会議の開催日程について、事務局から説明をお願いします。

【長井班長】

- ・ 次の会議の開催日程を説明する。
  - (1) まちづくりフォーラム
  - (2) 上越市漁業協同組合柿崎支所との懇談会
  - (3) 第 7 回柿崎区地域協議会だより編集委員会
  - (4) 第 5 回ネットワーク柿崎
  - (5) 第 11 回柿崎区地域協議会

【吉井会長】

- ・ その他で皆さんから何かないか。

(なし)
- ・ それでは、地域協議会をこれで閉会とする。

【中村副会長】

- ・ 地域協議会の閉会を宣言。

(午後 7 時 43 分閉会)

9 問合せ先

柿崎区総合事務所総務・地域振興グループ

TEL : 025-536-6701 (直通)

E-mail : kakizaki-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。